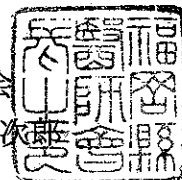


福岡医発第767号(地)

平成15年 7月11日

各医師会長 殿

福岡県医師会
会長 関原 敬次



平成15年度インフルエンザHAワクチン製造株、及び製造本数について

標記の件につきまして、別紙のとおり厚生省医薬局長より、各都道府県知事宛に、通知がなされた旨、日本医師会より情報提供がありましたのでご連絡申し上げます。

また、厚生労働省「インフルエンザワクチン需要検討会」より、本年度のワクチン需要量は、1,244～1,400万本程度と考えられ、ワクチンメーカーの製造予定量は、1,445万本であるとの報告がなされました。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご丁知いただきますとともに、貴会管下関係医療機関等に対して、必要以上のワクチンを購入しないこと、また、インフルエンザのシーズン終了後に多量のワクチンが返品されることのないよう周知方よろしくご高配の程お願い申し上げます。



(地Ⅲ 9 0)

平成15年7月3日

都道府県医師会

感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長

雪 下 國 雄

平成15年度インフルエンザHAワクチン製造株、及び製造本数について

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、平成15年度インフルエンザHAワクチン製造株が決定され、厚生労働省医薬局長より各都道府県知事宛通知がなされましたので、参考までにお送りいたします。

また、厚生労働省「インフルエンザワクチン需要検討会」より、本年度のワクチン需要量は、1,244～1,400万本程度と考えられ、ワクチンメーカーの製造予定量は、1,445万本であるとの報告がなされました。

つきましては、貴職におかれましても、本件についてご了知いただき、貴会管下関係医療機関等に対して、必要以上のワクチンを購入しないこと、また、インフルエンザのシーズン終了後に多量のワクチンを返品することのないよう周知方よろしくご高配の程お願い申し上げます。

医薬発第0617002号
平成15年6月17日

各都道府県知事 殿

厚生労働省医薬局長

平成15年度インフルエンザHAワクチン製造株の
決定について（通知）

生物学的製剤基準（平成5年10月厚生省告示第217号）の規定にかかる
平成15年度のインフルエンザHAワクチン製造株について、下記のとおり決定
したので通知します。

なお、ワクチンの安定供給について、今後ともご配慮願います。

記

A型株

A／ニューカレドニア／20／99（H1N1）

A／パナマ／2007／99（H3N2）

B型株

B／山東／7／97

平成15年度インフルエンザワクチンの需要について

1. 調査結果概要

①医療機関等調査

抽出医療機関に対し、14年度の世代別のインフルエンザワクチン接種人数、接種回数及び次シーズンの需要量の調査票をシーズン前に発出し、シーズン終了後に回収。以下の数値を算出。

	最大値	最小値
幼児・児童（13歳未満）	430万本	430万本
成人（13～64歳）	384万本	336万本
高齢者（65歳以上）	494万本	478万本
合計	1,308万本	1,244万本

（注）最大値は、成人および高齢者の1回接種・2回接種の割合が現状通りとした場合で、最小値は、13歳以上をすべて1回接種とした場合。

②世帯調査

世代別に住民への郵送によるアンケート調査をシーズン終了後に実施し、以下の数値を算出。

	需要本数
幼児・児童（13歳未満）	371万本
成人（13～64歳）	505万本
高齢者（65歳以上）	524万本
合計	1,400万本

（注）幼児・児童は2回接種で6000円、成人は1回接種・2回接種の割合が現状通りとした場合で1回の接種費用が3000円、高齢者は1回接種で1000円とした場合の需要本数。

2. 次シーズンの需要検討結果

今回の医療機関等調査と世帯調査によってワクチンの需要を調査したが、両者の需要予測量はかなり近似しており、その信頼性は高いものと考えられる。両調査の結果、本年度のワクチン需要は、1,244～1,400万本程度と考えられる。一方、本年のワクチンメーカーの製造予定量は、1,445万本であり、その需要に見合うだけの供給はなされるものと考えられる。

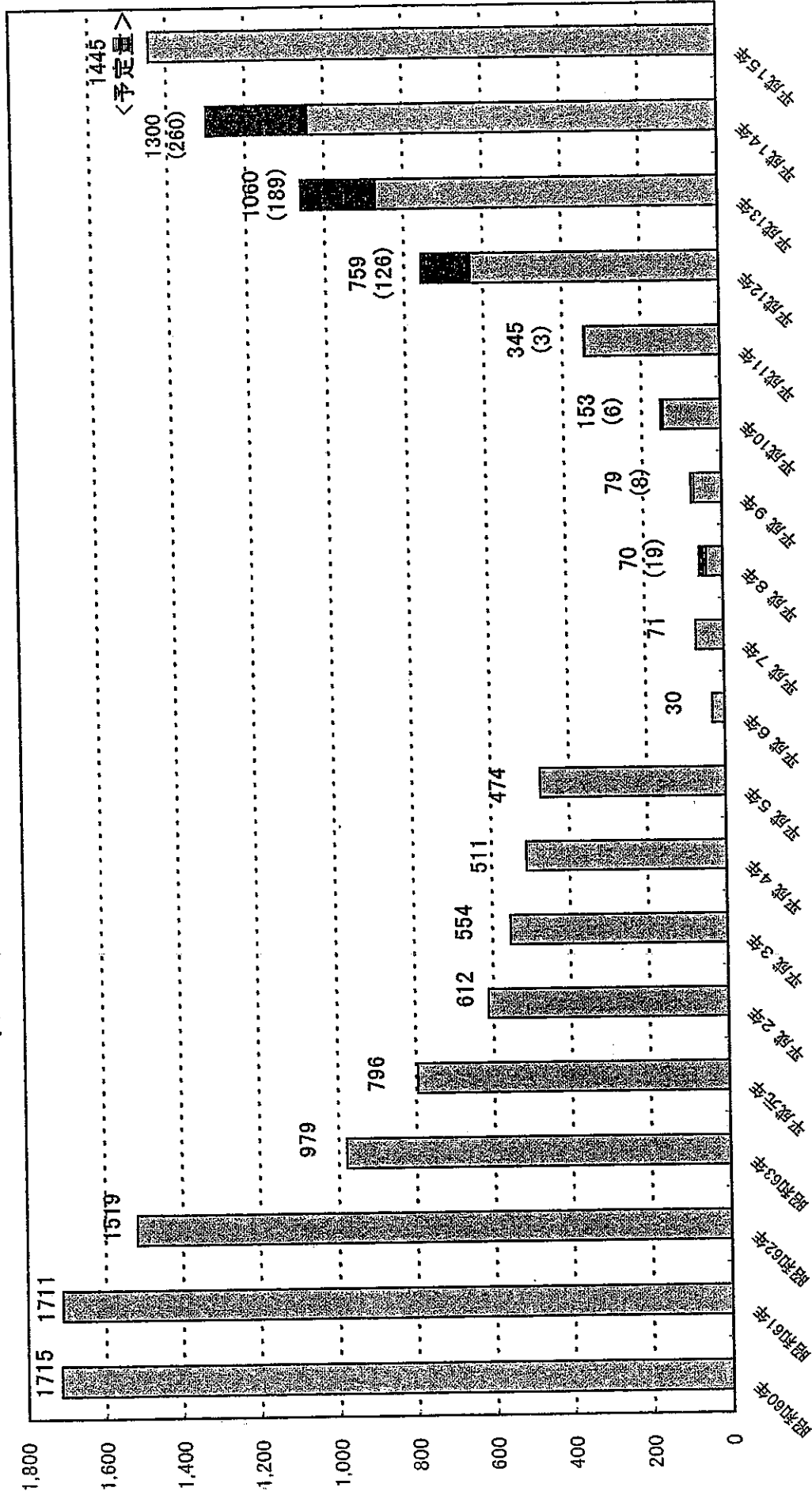
なお、インフルエンザワクチンの実際の需要は、マスコミ報道、流行状況等の様々な要因によって変動する可能性があることを考慮すべきである。

<参考>

今年度のインフルエンザワクチン製造予定量は、現時点でワクチンメーカー4社あわせて計1,445万本である。しかし、インフルエンザワクチンの製造量は、ウイルスを鶏卵で増殖させて製造するため、ウイルスの増殖力、気温、鶏卵の質等に大きく影響を受け、この製造予定量はあくまでも現時点の目安である。

インフルエンザワクチン製造量の推移

(万本)



()は未使用量 ※平成7年以前の未使用量については不明

■ 製造量 ■ 未使用量